

看護連携新聞

令和2年 夏号



コロナウィルスの流行で、自宅で過ごす時間が多くなっている今日この頃。自宅でどう過ごすかが、ストレスを溜めないポイントになっているのかもしれないですね。今回は「老化による物忘れと認知症の違い」についてお話をしていきたいと思います。

認知症とは、..

何かの病気によって起こる症状や病態の総称です。老化による物忘れと認知症は違います。認知症が進行すると、段々理解する力や判断する力がなくなり、社会生活や日常生活に、支障が出てくるようになります。



《老化による物忘れと認知症の違い》

	老化による物忘れ	認知症
原因	脳の生理的变化	脳の神経細胞の異常
もの忘れ	体験したことのない一部を忘れる (ヒントがあれば思い出す)	体験したことを丸ごと忘れる (ヒントがあっても思い出せない)
症状の進行	あまり進行しない	だんだん進行する
判断力	低下しない	低下する
自覚	忘れっぽいことを自覚している	忘れたことの自覚がない
日常生活	支障はない	支障をきたす

今回は物忘れと認知症の違いについてお話させていただきました。認知症の早期発見、早期治療のきっかけにしていただければと思います。ただし、どれも「めやす」ですので、気になる方は専門医へご相談をお勧めします。

～編集後記～
「物忘れと認知症」の違いは、意外と判らないことが多く、自分自身「あれっ？」と思うことがよくあります(*^-^*)
やはり規則的な生活や適度な運動、たまには脳トレなども取り入れていきたいと思います。また、認知症かも？と思った時には、早めに受診して頂けるといいと思います。
次号もお楽しみに！



Gimeien
特別養護老人ホーム
義明苑
看護連携委員会